

2013年日本心血管脳卒中学会第1回役員会議事録

- 1, 日時 2013年6月27日(木) 15:00-16:30
- 2, 場所 京王プラザホテル本館47階「あさひ」
東京都新宿区西新宿2-2-1
- 3, 出席者(50音順)
運営委員:伊苺裕二、池田隆徳、岡田 靖、峰松一夫(委員長)、宮本 享、森野禎浩
監事:根本 繁、山田和雄
会長、会長指名者:永廣信治、兵頭明夫
庶務会計、事務局:坂井信幸、豊田一則、徳永 梓
(欠席) 小笠原邦昭(運営委員)

4, 議題(一部敬称略)

(1) 開会あいさつ(峰松一夫)

開会にあたり、運営委員長の峰松が、これまでの経緯と本会(第1回役員会)の趣旨を説明した。すなわち、日本頸部脳血管治療学会あり方委員会の議論(2回)により、新たな目的と組織で学会を再構築することとなった。日本循環器学会、日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会が指名した委員により「日本心血管脳卒中学会」の会則案、組織案を作成した。本会が、その第1回運営委員会となる。この会議の後に開催される日本頸部脳血管治療学会世話人会で、組織移行が議論される。

(2) 出席者自己紹介

(3) 会則について

これまでの議論に基づいて作成された会則(案)を修正した。修正点の骨子は以下の通り。

- 1 学術評議員は役員に含めず、独立させる。
 - 2 役員は運営委員会で選出し、会員総会で承認して選任する。
- 議論を行い、発足(移行)時の会則を確定した。

(4) 利益相反規定について

指針(案)、細則(案)が提示された。内科系学会が他の学会への情報提供に同意していない状況に鑑み、今回は制定せず、利益相反委員会を設置して引き続き整備作業を継続することとした。委員長に岡田靖、委員に伊苺裕二、宮本 享、坂井信幸が指名された。来年の第1回学術集会では、通常の様式に則り、発表者が利益相反情報を開示することとした。具体的基準や方法は、利益相反委員会が演題募集前に定める。

(5) 学術評議員について

会則(案)に基づき、日本頸部脳血管治療学会世話人、運営委員の推薦により作成された名簿を確認した。132名を第一次候補とし、発足後に候補者に依頼状を送って諾否を確認することとした。

(6) ロゴとホームページについて

業者に外注する経費は無視できないことから、事務局作成のロゴとホームページの運用を承認した。

重要事項の掲載には、運営委員会の許諾を要することとした。

(7) 第1回学術集会について

第13回日本頸部脳血管治療学会会長の兵頭明夫(獨協医科大学越谷病院脳神経外科)が、大宮ソニックシティで2014年6月6日(金)-7日(土)に開催予定であること、テーマは「多角的視点から診る脳卒中」で、第37回日本バイオレオロジー学会年会を一部併催すること、記念すべき第1回学術集会のため、役員および会員の協力を仰ぎたいことを発言した。日本頸部脳血管治療学会で移行が正式承認された場合は、「第1回日本心血管脳卒中学会(旧日本頸部脳血管治療学会)」と表記することとした。

(8) 第2回学術集会について

会場確保を急ぐ関係から、準備委員会が永廣信治(徳島大学脳神経外科)に主宰することを依頼し、永廣信治はこれを承諾した。会期は2015年6月12日(金)-13日(土)とし、開催地は大阪、神戸、徳島を検討しているとの説明がなされた。

(9) 第3回学術集会について

循環器領域から選ぶこととし、池田隆徳先生（東邦大学循環器内科）を選出した。

(10) 本会の運営について

議論を行い、以下の3点を合意した。

-1 日本頸部脳血管治療学会からの移行については、会員および資産の継承の観点から、新学会の設立ではなく、名称および組織変更が望ましい。本件は、日本頸部脳血管治療学会世話人会の決定事項である。

-2 多領域の専門家が一同に会し、参会したくなる魅力的なプログラムを計画すること、アナウンスを積極的に展開することが、日本心血管脳卒中学会発展のために必須である。そのためにも、心血管および脳血管の連関に実績と興味を持つ多くの中堅の医師、研究者に、学術評議員就任を依頼することが望ましい。

-3 日本頸部脳血管治療学会からの移行が認められた場合は、学術集会補助金を200万円とし（従来は100万円）、資金の移行後に交付する。

以上この議事録が正確であることを証します。

2013年6月27日

議長： 峰松 一夫



議事録署名人：根本 繁



議事録署名人：山田 和雄



参考)

日本頸部脳血管治療学会世話人会

2013年6月27日(木) 17:00、京王プラザホテル

日本頸部脳血管治療学会のあり方委員会の議論を踏まえて準備した日本心血管脳卒中学会の概要を峰松一夫運営委員長が説明した。議論を経て、日本頸部脳血管治療学会会則第17条「本会則は世話人会において変更、追加することができる。この分野の発展に伴い、会の名称を変更することもあり得る」の条項に基づき、日本頸部脳血管治療学会の名称を日本心血管脳卒中学会に変更すること、準備委員会の原案に基づいた組織に移行すること、を満場一致で議決した。

今後の予定

- 1 日本頸部脳血管治療学会会員には、日本心血管脳卒中学会事務局から名称変更、組織変更、その経緯と目的、今後の予定などを通知する。
- 2 会員名簿はできるだけ早く日本頸部脳血管治療学会事務局から提供を受け整備する。
- 3 資産移行については、公認会計士または税理士などの専門家の助言を受けてから実行する。